

総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会
特定放射性廃棄物小委員会 地層処分技術WGの設置について

令和5年 10月 13日
資源エネルギー庁

1. 背景・目的

- 令和2年11月から、原子力発電環境整備機構（NUMO）において文献調査を実施しているところ。これは、全国で初めて実施する調査であり、今後、別地域で段階的な調査を実施する場合の評価にも影響を与えるものである。
- こうした中、総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 原子力小委員会 地層処分技術WGでは令和4年11月29日より、文献調査の取りまとめや、調査の段階に応じて新たに生ずる論点のうち、特に技術的/専門的な事項について審議いただいたところ。
- 令和5年7月26日の総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会原子力小委員会では、同小委員会の下にある放射性廃棄物WG及び地層処分技術WGを廃止し、同分科会の下に特定放射性廃棄物小委員会を設置した上で、必要に応じて、特定放射性廃棄物小委員会の下位機関として地層処分技術WGを設置することとされた。
- 今後、最終処分施設建設地の選定に向けた段階的な調査を実施していくに当たって、技術的論点を透明性あるプロセスの中で、丁寧に議論いただくことは、引き続き重要である。
- 以上を踏まえ、特定放射性廃棄物小委員会の下に「地層処分技術WG」を設置する。

2. 審議事項等

- 「特定放射性廃棄物小委員会」からタスクアウトされた、最終処分の検討課題について、技術的/専門的な観点から議論を行う。
- 「地層処分技術WG」での議論状況は、「特定放射性廃棄物小委員会」に隨時共有することとし、必要に応じて「特定放射性廃棄物小委員会」に全体を諮る。

3. 委員構成

- 「特定放射性廃棄物小委員会」の技術系専門家に加え、審議の中立性・透明性を確保する観点から、地質環境についての関連学会から推薦等により

選ばれた専門家、「科学的特性マップ」、「文献調査段階の評価の考え方」の策定等に係るこれまでの議論に精通した専門家により構成する。

- 事務局側説明者として、NUMO が参加する。